

蓬萊の玉の枝 ― 「竹取物語」 ― から

一年) (組) (番 氏名) (

入力の目標

「蓬萊の玉の枝」を、音読しよう。

1 いよいよ主人公の気持ちも人物像を整理しよう。また、その根拠を確認しよう。

※ どうしてかかへぬ娘と結婚したか。
・ 計画を立て、二年間かけて準備をした。
・ 誠実ならざるが、本心はほんとうにかかへぬ。
・ 話のながれをいへず、ちんぷん。

2 音読の練習しよう。

場面を想像しよう。

相手・・・翁やかへぬ姫

目的・・・自分の話が、本心はほんとうにかかへぬ。

具体的な工夫

- ① 声の表情をつける。(感情を表現する読み方をしよう。)
- ② 得意に「自信たっぷり」さかすま本心のいびつへ
- ③ 声の大きさ
- ④ 読みの速さ
- ⑤ 間の取り方

自分の音読の目標

(例) 間の取り方を工夫し、いかにも本当らしく聞こえるようにする。
せりふも感情をこめて、ゆっくりと読む。

3 相互評価(1回目)

進め方

- ① 順番に一人ずつ自分の目標を言った後、音読の発表をする。残りの人は評価を書く。
- ② 全員が終われば、順番にそれぞれの人への評価コメントを読む。
- ③ 他の三人からもらった評価コメントを、それぞれメモする。

発表者の名前	音読の目標ポイント	評価コメント
		良かったこと・改善した方がよいこと (声の表情・声の大きさ・読む速さ・正確さ)
		改善 良
		改善 良
		改善 良

(君・さくら) (君・さくら) (君・さくら)

1 回目の発表を終えて

友達のコメントを聞き、工夫しようと思うこと・また、友達の発表を聞いて自分の音読に生かそうと思うことや書こう。

4 相互評価をしよう。(4回)(4回)
進め方は一回目と同じです。

発表者の名前	音読の目標ポイント	評価コメント 良かったこと・改善した方がよいこと (声の表情 声の大きさの 読び速の 正確な)
		良
		改善
		良
		改善
		良
		改善
		良

() 君・みんが () 君・みんが () 君・みんが

5 今回の振り返り (自由評価) A 良い B
ふじっ C 努力が必要 ()

授業全体を振り返って思ったこと、
友達の音読発表を聞いて思ったこと、
自分が頑張ったことなどを書こう。

項目	評価
音読練習で意欲的に取り組んだか	A B C
工夫して音読発表に取り組んだか	A B C
グループの話合いに積極的に参加したか	A B C